

湖南アルプス (太神山599m・堂山384m) [※ 実施日-2023年11月28日(火)]



(ハイライトシーン)

※弥生班 計7名、(楠部、木村、岡本、山本、河原、八木、有本)

① (9:00---登山口で入山届投函)



② (登山口)



③ (二尊門)



⑥ (太神山の三角点)



⑤ (胎内くぐり---その2)



④ (胎内くぐり---その1)



⑦ (太神山)



⑧ (堂山周回コースで渡渉)



⑨ (砂地の広い河原)



⑫ (14:10---堂山へ登頂)



⑩ (堂山をバックに)



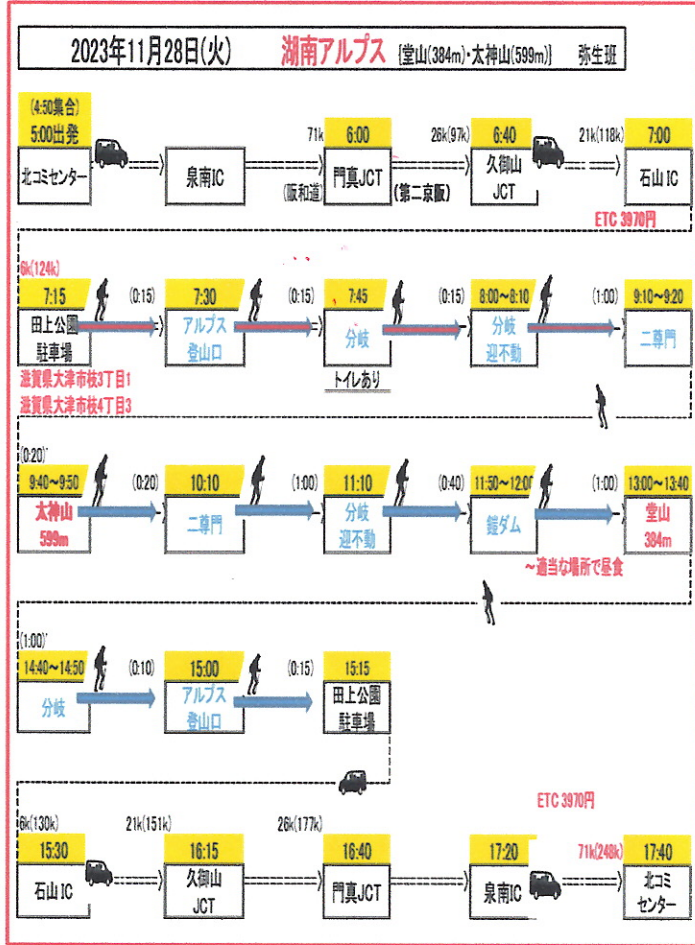
⑪ (奇岩・巨岩をバックに)



湖南アルプス (太神山・堂山)

※(山行日) ----- 2023年11月28日(火)

※(行程) [予定・結果]



(湖南アルプスのロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) ----- 計7名

楠部、木村、岡本、山本、河原、八木、有本

※[はじめに]

- 『湖南アルプス』は滋賀県の南部に位置する山々で、南郷洗堰の東方面の「田上公園」から山手側に、「太神山」「堂山」「笹間岳」「矢筈ヶ岳」の4つの縦走と天神川の川遊びが楽しめる場所です。
- 山頂からは琵琶湖を見渡すことができる。花崗岩の巨岩・奇岩が多く、歩きながら独特の景観を楽しめます。
- 今回は「太神山」「堂山」の山行を楽しみます。

(写真1) (登山口で入山届投函)



- 北コミ5時出発するも、和歌山北 IC が工事による通行止めで泉南 IC への回り道となった為、1時間30分遅れのスタートとなった。駐車場で本日の行程の打合せ後、登山届を提出し、いざ出発。

(写真2) (不動橋で)



- 晴れたり曇ったり時々時雨れて天候不順?

(写真3) (二尊門)



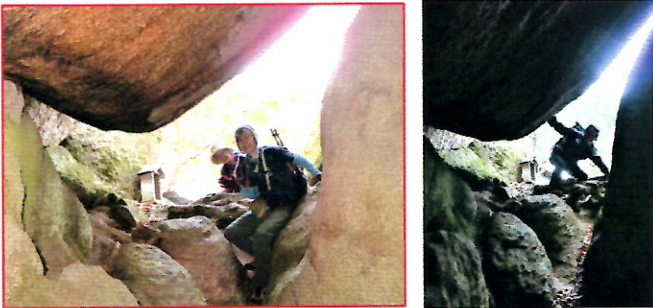
・ここから 20 分程で不動寺があり、神秘的な
雰囲気となる。

(写真7) (太神山から下山)



・下山途中で昼食。
昼食後、1 班は駐車場へ直行、2 班は堂山周
回コースへと別れる。

(写真4) (胎内潜りができる大岩)



・不動寺は修復工事中であった。
本堂の裏側に胎内潜りの出来る大岩がある。

(写真8) (堂山周回コースで渡渉)



・溪流沿いを右に左に渡渉を繰り返し進む。

(写真5) (太神山の山頂)



(写真9) (小さな滝で一)



・景色がいいので、何枚も写真撮影----
ところが不安定な姿勢で---「あ〜、カメラが」
水面にカメラを落としてしまった。
落とした後に撮影したのが、これです。
カメラに水が入り真ん中が水滴でボヤケて
いる。

(写真6) (太神山の三角点)



(写真 10)

(鎧堰堤)



- ・瀬田川砂防初期の歴史的な砂防堰堤であり、石積みも階段状の珍しい積み方で美しく現在でも現役砂防堰堤である。

(写真 11)

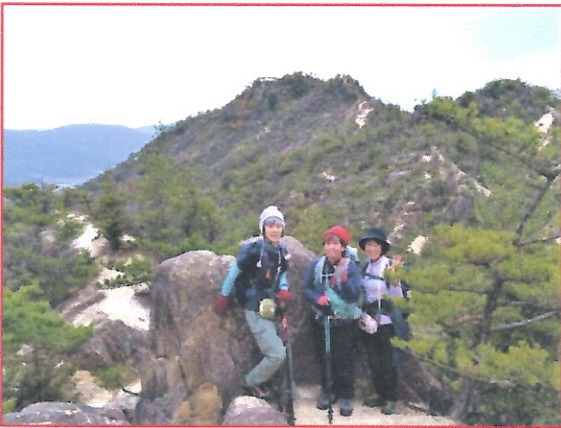
(砂地の広い河原)



- ・鎧堰堤を進むと砂地の広い河原に――余談――河原さんが河原でポーズ――

(写真 12)

(堂山をバックに)



- ・遅れを取り戻す速さで進むと、あっという間に目の前に堂山が――ここからが厳しい。

(写真 13)

(巨岩・奇岩)



(写真 14)

(堂山頂上)



- ・頂上手前は急登でロープをよじ登る箇所が3カ所あり苦勞したが、14時10分登頂。

(写真 15)

(新名神高速の工事)



- ・湖南アルプスへ入山するには、この工事現場の下を通る。

高い橋脚だったため帰りに工事関係者に聞いたところ、湖南アルプスの景観を損なわない対策であり楕円型の上に道路ができ2年後の完成とのことでした。

- ・15時40分、無事下山。

[最後に]

○**太神山 (たなかみやま)** は山頂下に不動寺があり、山頂付近にある本堂は室町時代に建てられた舞台造りで、巨石によりかかるように建てられており、現在は修理中であった。こんなところに不動寺があるとはどの思いと、厳かで神秘的な雰囲気を感じた。

○**堂山(どうやま)**は、低山でありながら溪流や花崗岩の巨岩・奇岩の景観があり、渡渉や岩登りと変化に富んだ山行を楽しめました。